

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 平成30年 10月 9日(火)

2、開催場所 燕市大曲 燕三条エフエム放送 会議室

3、委員の出席

・委員総数 …… 8

・出席委員数 …… 6

・出席委員の氏名・・上村 浩昭委員長、田邊とも子委員、市島清貴委員、
遠藤 愛子委員、瀬戸明委員、坂内紀美子委員

・欠席委員の氏名・・吉田 文彦委員、本間幸美子委員

・放送事業者側出席者・・阿部代表取締役社長、阿部局長、本間取締役、高井唯行

・放送事業者側欠席者・・・なし

4、委員長挨拶 上村委員長

台風24、25号の影響で、皆様においては大変ご心配だったと思います。首都圏では、JR 各線が計画運休を実施、新潟管内でも9月30日から10月1日にかけて全面運休させていただきました。今後も、このような事態の際、平日でも計画運休などがありますので、ご承知おきください。さて、10月8日から4日間にわたり「工場の祭典」が賑やかに行われ、台風の影響も考えられましたが、無事終わられてよかったですと思います。番組「さとちん電波」でもお知らせいただきありがとうございます。本日もよろしくお願いたします。

5、事業者側経過報告 阿部代表取締役社長

今日もお忙しい中、弊社の番組審議会にお集まりいただきありがとうございます。
9月24日に執り行いました「開局20周年記念パーティー」も無事終わり、皆様に感謝申し上げます。9月24日はまさに開局記念日であり、20年前の当日は、燕三条駅にスタジオがあったこともあり、ゲストに桜井良子さんに番組に出演いただき、開局に花を添えることが出来ました。
あれから20年が経ち、燕市と三条市がひとつになっているんだらうなと思っていましたが、そのままの状態です。2つの街からお付き合いいただいております。記念パーティーでは、株主様、スポンサー様においでいただき、さらに燕・三条両市長に挨拶とパネルディスカッションに登壇いただき、好評でした。弥彦村長にも来ていただきましたが、弥彦にも、私どもの「災害時」の取り組みを案内していきたいと思っております。

来年3月には、恒例のさとちん電波隊のコンサートを企画しております。詳細が決まりましたら改めてご案内いたします。

本日もよろしくお願いたします。

6、議題内容

(1)「オレンジ GOAL！」(月曜12時30分～13時00分)について

10月1日(月)放送分

(2)次回の番組審議委員会の日程について

～番組試聴～

7、議事内容

(1)「オレンジ GOAL！」

上村 委員長:初めて聞かせてもらいました。アナウンサー(高野一美)と古俣健次さんがおしゃべりしていましたが、そこに街頭インタビューやアルビレックス新潟の選手が番組にでてくると番組に幅が出来ていいと思います。今回は勝ち続けていますが、負けている時も街頭インタビューなど流すといいのではないのでしょうか。

市島 委員:30分番組ですが、私はあまり面白くなかったです。この番組を聞いている人はどんな人なのかなど。チームの裏話や、秘話、エピソード、分析、ピックアップ選手を紹介するなどがなくつまらないと思います。例えば、番組中に選手と電話で繋いで放送すると面白いかもしれませんね。また、巷にインタビューして、リスナーの声を流すといいかも。そうすると看板番組のひとつになるかもしれませんね。

瀬戸 委員:メールメッセージをどんどん拾ってほしいです。

阿部 局長:スタジオに何人か見に来ております。メッセージも結構来ているんですよ。

瀬戸 委員:それを生かし切れていないように聞こえました。メッセージは番組の肝になるのではないのでしょうか？

阿部 社長:私どもとアルビレックス新潟とはメディアパートナーとして協力しております。そもそもPRという所から始まったんですが、その目的が薄れてきているのかと思います。ゲストが古俣さんのときはいいんですが、他のスタッフが出るときは、あわせて「街の声」を拾ってそれを流すのはいいかもしれませんね。アルビの応援がもっと出るような感じがします。

田辺 委員:いま、チームが勝っているからいいので、もし負け続けていたらどうなんでしょうか。

阿部 社長:そういう時は、サポーターの声を流すといいですね。

田辺 委員:NHKの「にいがた610」という番組で、『ミッシェルが斬る!』というコーナーがありますが、見ていて物足りなさ感があるんです。それに比べると、『オレンジ GOAL!』は奥があると思います。よかったです。番組への要望では、サポーターだけでなく、サッカーに興味がない一般人にインタビューして番組を聞いてくれるような構成を期待したいです。マニアックな人はメッセージは出さないと思いますが、一般人の方はまた難しいところがあると思いますが、取り組んでほしいですね。

瀬戸 委員:他のスタッフ(風間さん、青柳さん)が出ている時の反応はどうですか？

本間取締役:古俣さんが出演されている時は面白いです。他のスタッフは素人ですから、アルビファンは聞かないと思います。マニア向け、100人が100人とも満足する番組はなかなか作れません。さとちんの番組もそうですけど。

田辺 委員: スタジアムに応援に来ている人を、風間さんや青柳さんが声を拾ってくるというのはどうでしょうか？

阿部 局長: 検討します。

遠藤 委員: 30分聞いていると、いやになります(笑)。夫婦でサッカーファンがいるんですが、仲が悪いんですよ。そういう人にインタビューすると面白いのではないのでしょうか。それと、曲は入らないんですか？

高井: 曲はかかりません。しゃべりっぱなしです。

阿部 社長: 番組のターゲットがぼやけてきた感は否めないですね。いろいろな意見を取り入れたいと思います。

市島 委員: 選手個人をピックアップして、一日どんな行動をしているのか放送すると、興味を引くんじゃないでしょうか。プライベートで問題があれば、選手の好きな曲をかけるとか。

阿部 社長: 一選手のおっかけとか。

阿部 局長: 応援したくなるような番組構成とか。

田辺 委員: スタジアムに行かないとね。

本間取締役: 強くて華がある選手は応援したくなるのでいいんですが、今年のチームはレギュラー選手がいなし、よそのチームから来た人ばかりだし。そうなると、番組自体、手間をかけないと聞いてもらえないということでしょうか。

瀬戸 委員: ラジオは〜と全般として意見があるんですが、特派員を設けられれば、番組の内容がよくなるんじゃないでしょうか。『オレンジ GOAL!』なら、取材もできると思います。

阿部 社長: マンパワーが足りていません。例えば、コミュニティーFM 局10社で1人のベストなパーソナリティーを持ち回りで番組を作るとか。FM-J さんでは、私どものさとちんを使ってみたいという要望が出ています。

本間取締役: 一般の人を使うと、コンプライアンスを守ってくれない、慣れると自分たちのやりたいことをする、など難しい面があります。

阿部 社長: 市民ボランティアスタッフは6年前にやめました。制御できなくなるんですね。この件については、各コミュニティーFM 局の方向性、パワーが違うので難しいです。

本間取締役: 生放送って、時間が来ると終わりますが、録音番組だと、改めて聞き直して編集する、そうすると3~4倍の時間と時間がかかります。取材してちょっと流すのはいいんですが、『オレンジ GOAL!』のような番組を一コミュニティーFM だけで流すのはめずらしいですよ。

(2) 次回の番組審議委員会の日程について
12月13日15時予定。

8、その他・意見交換等
特になし。

閉会

9、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容及び年月日
自社放送 平成30年10月9日(火)
書類のエントランスホールへの備置き 平成30年10月12日(金)
自社HP上に記載 平成30年10月15日(月)

10、その他、参考となる事項
特になし